

平成 23 年 7 月 16 日

北関東フォーラム

於：シムックス

中齋塾 北関東フォーラム

平成 23 年 第 6 回講話

エネルギーを減らして、心豊かに過ごす

昨夜、健康医療開発機構の集まりに参加しました。東北大学環境科学研究科の教授が、<2030 年を見据えて、日本の社会がどうなるか>という話をされました。2030 年で石油は枯渇する。日本の社会を支えているエネルギーは、著しく手に入らなくなる。当然、自動車も電気自動車のようなものになるでしょう。2030 年は色々な要因が日本経済を直撃する。それが今回の東日本大震災によって、下手をすると 10 年ぐらい早まったかもしれない・・・という内容でした。

提案書を戴いてきましたので、皆様に回覧致します。世間には、世の中の為になるように、一所懸命いろいろな研究をしている人が多いのだなと感じました。

その先生の提案は、2030 年は今現在のエネルギーを 2 割、出来れば 3 割減らして、毎日生き生きワクワク、心豊かに過ごす。そういう暮らしができないだろうか。又、それができなければ日本という国は沈没していくという内容で、非常に中身の濃いものでした。先ほど代表幹事が魅力ある人間という話をされましたが、ぴったり一致していましたので驚きました。

今、東京電力は 15%削減を言っていますが、電気だけでなく色々なエネルギーを 2 割から 3 割減らして、尚且つ、心豊かに生き生き・ワクワクというのは、そんなに難しいことではありません。ただ、ものの考え方が変えられるかどうかです。それこそ我々中齋塾の基本哲学である知足、次から次に欲しがらないで、ほどほどで満足すると思える気持ちに一人ひとりが変わっていくことによって、人類は生き延びられるでしょう。今、人類全体から見ると、どんどん人口が淘汰される流れに入っているのです。日本はこのままでいけば、かなり淘汰される側になるであろう。それを止めるのは・・・先ほどの話になります。

人生を成功に導く秘訣

では、恒例の質問を致しましょう。

夜寝る時に、私は必ず5つのことを確認しています。

- 1．今日は嘘をつかなかったかな？
- 2．今日は一日、良い日だったかな？
- 3．有難うと言ひ、有難うと言われたかな？
- 4．運動をしたかな？（1万歩前後歩くことと、風呂での健康体操）
- 5．明日は良い日だったかな？

私が一番重要視しているのは、最後の質問です。明日のことを過去形で良かったと思う。これは、充実した素晴らしい日々を送れる、人生を成功に導く秘訣です。これが身に付けば、未来はどんどん開かれる。成功の扉が開けてきます。特に西洋の人はそういう考え方をしています。＜明日こうしたいな＞と思って寝ると、何かのアクシデントがあって半分しか出来なかったとか、ほとんど出来なかったということが結構あります。ところが、＜明日はこういうことが出来て良かったな＞と過去形で思って寝ると、たいがい実行できます。＜明日はこういうことが出来て良かったな＞と喜んでいる自分がイメージできればよい。そうすると明日になって、＜今日は良かったな＞となる。その繰り返しで、人生を成功に導くのです。

では、お聞きします。

昨日一日、嘘をつかなかった方？

昨日一日、良い日だったと思う方？

有難うと言ひ、有難うと言われましたか？

「有難う」と言うのは簡単ですが、有難うと言って貰う事はたいそう難しい事です。買い物をして「有難うございました」と言われるのではなく、できれば相手に何かして差し上げて「有難うございます」と言われる方がよい。人間、困っている時に必要な手を差し伸べられた時は、素直に心から「有難う」という言葉が出るものです。そういう「有難う」を言われたら素晴らしいですね。有難うと言われるレベルを上げていく努力をされるとよいと思います。

昨日、自分自身の健康のために何か運動をした方？

あまり手が挙がりませんね。自分の身体の面倒をみないと、誰も見てくれませんから、ある日突然倒れてしまうようなことがあるかもしれません。高齢の方にお聞きしてみると、だいたい皆さん自分なりの身体の手入れの仕方を持っておられるようです。自分の体力が著しく落ちた時に、何かそういうことを始めるようです。体力が落ちた時は人生の棚おろしをしなければならぬ時期ですから、是非ご自分にあった健康管理をされるとよいと思

います。

昨日、何か新鮮な驚き・はっとする感動をした方？

瑞々しい感性を持っている人は、日々新鮮な驚きがあります。何名か手が挙がりましてので、後で時間をとって話をして戴きたいと思います。

今日の論語

では、論語の解説を致します。本日は泰伯第八 6~15 です。

【六】 そうしいわ 曾子曰く、もつ りくせき こ たく 以て六尺の孤を託すべく、もつ ひゃくり めい よ 以て百里の命を寄すべく、たいせつ のぞ 大節に臨み
うば て奪うべからざるは、くんしじん 君子人か、くんしじん 君子人なり。

六尺の孤とは、幼い孤児です。一尺は2歳半ですから、六尺は15歳です。

曾子が言うには、両親を亡くした幼い君の面倒を見つつ、百里四方を治める国家を任せられることができる。重大な事件があったとしても、志を奪われることがない。そして親のいたポストに就かせるよう子供をきちんと育ててゆく。これは君子と言ってよいだろうか、まことに君子だと言ってよいだろう。

渋沢栄一は28歳の時でフランスに留学した時、この言葉を心の拠り所としていたそうです。江戸幕府最後の将軍徳川慶喜が弟の昭武をフランスに留学させるにあたって、その身を案じて、お供に渋沢栄一を随行させたわけです。昭武はその時14歳でした。途中で徳川家が政奉還をしましたから、まともに送金がされなくなる。大勢のお供を日本に返してしまいましたから、渋沢栄一は残った昭武の面倒を一人で見ることになりました。その時にこの論語を反芻しながら、六尺の孤（昭武）を託されたような気持ちで、一所懸命お世話をしたわけです。それが日本の近代資本主義の父と言われる渋沢栄一の基礎になっていると思います。

【七】 そうしいわ 曾子曰く、し もつ こうき 士は以て弘毅ならざるべからず、にんおも 任重くしてみちとお 道遠し、じんもつ 仁以ておの にん 己が任
な と為す。また おも 亦 重し ならずや、のち や 死して後また とお に已む。亦 遠また とお ならずや。

曾子が言うには、学に志す者は心が広くて強固な意志を持つ人間でなければならない。責任が非常に重く、道も遠いからだ。この仁という重荷を死ぬまで負って行くのであるから、遠いと思えば遠いし、遠くないと思えば遠くない。

徳川家康が「人の一生は、重荷を負うて遠き道を行くが如し」という遺訓を残しました。実際は家康本人が残したのではなく、後世に家康の言葉として創作されたと云いますが、いずれにしてもこの論語からとったものだと分かります。

「士」を政治家、特に総理大臣に置き換えてみましょう。総理大臣は心が広くて困難に耐えられる強固な意志を持っているでしょうか。確かに菅さんは強固な意志を持っていますが、心は非常に狭いし、先々を見通していません。自分の言葉をすぐに変えてしまうので、この点で当てはまらないようです。

【八】 子曰く、詩に興り、礼に立ち、楽に成る。

当時の教養人とはこういうものだと、条件を言っています。

孔子が言うには、詩を詠んで感動・興奮し、言葉だけでなく実際に礼式を身につけ、音楽の演奏を聞いてそれを理解する。

中国のこういう場合の音楽について、渋沢栄一さんは、「音楽を聞いてそれを十分理解するということは、その人間の教養を深くして素晴らしい人物になっていくものだ。翻って日本の音楽は、教養を深めて一段も二段もレベルを上げていくという音楽にはあまりお目にかからない。日本の音楽家は、少しは考えなくてはいけない・・・」と言っています。人によって感覚が違いますが、いずれにしても教養人は、詩・礼式・音楽を味わうものだと捉えています。

【九】 子曰く、民は之に由らしむべし。之を知らしむべからず。

孔子が言うには、国民には自分の言うことを信頼してもらい、自分のところに寄ってもらうことはできる。けれども、自分の本当の思いをきちんと理解させることは難しい。

自分の真意を相手に理解させることはなかなか難しい。しかし自分に寄ってもらうことは出来る。できれば自分が進んで行く時に、後ろに付いて来てもらう・・・これは政治に携わる人は皆、考えねばいけません。言っていることは分からないけれども、あの人の言うことだから信用できるだろうと思えるような人物・人格でなければ、政治家として大成することはできないだろうということです。あの人の言うことだから信用してもよいと思

わせる政治家が、どれだけ今の日本にいるかと思うと、お寒い限りです。

あの人の言うことは信用できると思われる人間に、お互いがなっていけばよいと捉えればよいでしょう。先ほど、魅力のある人という話を代表幹事がされました。私は魅力のある人とは、別れた後でまた会いたいと思える人ではないかと思います。今日会って話を聞いたけれども別れ難く、その人が行く方向に付いていってしまう。そういう魅力のある人物になりたいものです。

【十】 子曰く、^{しいわ} 子曰く、^{ゆう} 勇を好んで^{この} 貧しきを^{まず} 疾むときは^{にく} 乱る。人にして^{みだ} 不仁なる、^{ひと} 之を^{ふじん} 疾むこと^{これ} 已^{にく} 甚^{はなは} だしきときは^{みだ} 乱る。

孔子が言うには、腕に自身があって自分が貧しいことを憎む者は、反乱を起こす。仁に外れた者をあまり憎むと、その気持ちが昂じて反乱を起こすものだ。

自分に力があって、自分が貧しいのは国のせいだと強烈に行政を憎み始めると、だいたい反乱を起こす。また、行政に携わっている人間が汚職をしたり賄賂をとったりしていると、これを憎む気持ちが頂点に達すると反乱を起こすものです。

大塩平八郎の乱もそうです。明治維新が起きる一番最初のきっかけになったと私は思っています。大塩平八郎の乱はすぐに平定されましたが、江戸幕府に対してこういう反乱を起こしてもよいのだと思った人々が、各地に生まれた。その思想がだんだん固まっていて、動きが大きくなって、明治維新につながったわけです。

今の日本はどうでしょうか。食べ物が食べられなくなった時に当然、反乱・暴動が起きると思います。今の日本で暴動など考えられないかもしれませんが、食べ物がなくなって、どこかに不正に食べ物を集めて儲けようとしている人がいる…そういう不満が溜まりに溜まれば、どこかで暴動が起きると思います。昨日の会合の先生の話で、2030年にはエネルギーが枯渇するということですから、その頃に暴動が起きておかしくはない。そういう時代は目前に迫っていると私は感じています。

【十一】 子曰く、^{しいわ} 子曰く、^も 如し^{しゅうこう} 周 公の^{さい} 才の^{びあ} 美有りと^{きょうか} 同、^{りん} 驕 且つ^そ 吝ならしめば、^よ 其の^み 余は^た 観るに^た 足らざるのみ。

孔子が言うには、周公のように素晴らしい才能を持っているとしても、その人が驕り高ぶっていて、その上けちならば、如何に優れていても他のことは見るに値しない。

威張りやでけちな人とは仲良くしない方がよいということです。

大企業のトップは「管理はするけれども経営はしない」と云われます。私もそう思います。だいたいとてんで上がって行って、トップになるわけですから。

九州電力の真部社長が引責辞任をする見込みです。この人は末席の取締役だったのが抜擢されて、14人抜きで社長になった人だそうです。そういう人でも、やはり管理はするけれども経営はしないのだなと思いました。記者会見の席で「この事(やらせメール)が、そんなに悪いことですか？」とマスコミに聞いた。この程度の認識しか出来ない人間が、大企業のトップをしているのです。経営者ならば、すぐにピリピリときて、自分の引責辞任がすぐに浮かぶようであればいけないと思います。

逆に、中小零細のトップは、「経営はするけれども管理はしない」という面があるのではないかと思います。

いずれにしても驕り高ぶって、ちょっと好い時があっても威張ったりしない。そしてけちではいけないと捉えればよろしいでしょう。

【十二】 子曰く、三年学んで穀に至らざるは、得易からざるなり。

孔子が言うには、長い年月一所懸命学問に専心し、誰かに仕えて高い収入を得ようと思わない人は、なかなか得がたい人だ。

一所懸命勉強して、頭の中が学ぶことばかりで、世の中で稼ごうという気持ちがない。こういう人は得がたい・・・こういう人はなかなかいませんね。たしかにその通りでしょうが、その時の社会にもよると思います。一所懸命勉強したならば、社会に出てそれを活かそうとするのが良いのかなという気が致します。

【十三】 子曰く、篤く信じて学を好み、死を守りて道を善くす。危邦には入らず。乱邦には居らず。天下道有れば則ち見し、道無ければ則ち隠る。邦道有るに、貧しく且つ賤しきは恥なり。邦道無きに、富み且つ貴きは恥なり。

孔子が言うには、固い信念を持って学問に励む。死んでも変わらないほど固く道を守る。危機に陥った国には行かない。内乱のある国に滞在はしない。道義がある国では表に出て活躍する。道義が失われているような国では隠れる。

道義のある国（正しい人が正しいと受け入れられる国）で、貧乏で名前も広がっていない、そして卑しい心根の人は恥である。道義が失われている国で、たくさん金儲けをして高い地位に就くのも恥だと思いなさい。

自分自身を振り返るのに用いるとよいと思います。今、日本はどういう状況か。道義がある国か、道義が失われている国か。それによって自分の出处進退も考えるとよいと思います。

【十四】 子曰く、^{しいわ}其の^そ位^{くらい}に在らざれば、^あ其の^そ政^{まつりごと}を謀らず。^{はか}

孔子が言うには、責任ある地位になれば、政治を議論しないほうがよい。

実際にそのポストに就いてみなければ分からない苦労が色々あるものだから、余計なことを口出しするのはやめた方がよいということです。

【十五】 子曰く、^{しいわ}師^し摯^しの^{はじ}始め、^{かんしょ}関^あ雎^{おわ}の^{ようようこ}乱り、^{みみ}洋洋乎^みとして^{みみ}耳^みに盈てるかな。

師摯の師は楽師、摯は名前です。

孔子が言うには、摯楽師長が音楽を演奏すると、詩経の関雎という曲を演奏して終わるまで、素晴らしい勢いで盛り上がり、音楽で耳いっぱいになる。

始めから終わりまで素晴らしい演奏が出来た。音楽というものは素晴らしいものだ・・・孔子は音楽が大好きでしたから、所々で音楽の素晴らしさを言っています。

最後に論語の読み方を申します。

何か一つでもこれは素晴らしいと思う言葉が見つければ、中斎塾フォーラムでの論語は卒業だと思ってよいでしょう。私は論語の中の「利に放りて行えば、怨多し」という言葉を自分自身の判断基準にしています。渋沢栄一さんも「利に放りて行えば、怨多し」を一生涯守り抜いたと言っています。何か判断を迫られた時、この言葉を思い出して判断の基準にしています。事の大小は関係ありません。むしろ小さな事ほど判断しにくいことが多いけれども、皆、この言葉によってずっと判断できますので、皆様にもお勧めします。

自分自身で選んだ言葉があれば、その人の人生は豊かになります。ぜひ良い言葉を見つ

けて下さい。

人生の棚おろし

体力に翳りを感じたことがある方？

手を挙げた方は、どうぞ人生の棚おろしをして下さい。体力に翳りを感じると、やはり頭にも翳りが出ます。どこかで翳りを感じたら、人生の棚おろしをしておく必要があると思います。

どう、棚おろしをするか。

1、人との付き合いを整理する

私は今、意識して、名刺交換をしても後のフォローをなるべくしないようにしています。宇野哲人先生の息子さんの宇野精一先生は、94歳で亡くなられたのですが、先生が90歳の頃に「もう目が見えなくなってきたので、これからは年賀状は失礼します」というお手紙を戴きました。こういう幕の引き方はいいなと思いました。私もある日突然、こういう手紙を出してみようと思っています。ただ、当分の間、誰かにお会いしたいと思ったらこちらから押しかけていくことはするつもりです。ということで、人のお付き合いを9割減らして、従来の1割くらいにしたいと思っています。

2、自分の持っている資料を整理する

いつの間にか本や資料や写真がどんどん増えるものです。これは自分が五体満足で健康な時に整理しないと出来ませんから、今、一所懸命整理をしています。

3、自分の身体に休息をあげる

私は5年前から、8月は1ヶ月間まるまる夏休みを取ると決めて、そうしています。今年も1ヶ月間お休みを戴くことにしました。1ヶ月まるまる空けてしまうと、普段の生活とまるで違うライフスタイルが生まれますので、身体にとって非常に良い。別に1ヶ月でなくても、3日でも4日でも1週間でも、連休でお休みをとるように努力されるとよいと思います。

4、自分は何歳まで生きるというイメージを強烈に持つ

後ほどご紹介する中村天風先生の本の中にも、「人間は想うところから始まる。一所懸命想っていると、想いが願いになって、願いは叶えられる。ずっと想い続ければよいのだ・・・」とあります。

では、皆さんにお聞きします。ご自分は何歳まで生きられると思いますか？

自分は100歳以上生きると思う方？

・・・かなりの方の手が挙がりました。皆さん凄いですね。

では、90代まで生きると思う方？・・・80代までという方？

以前も申しましたが、木内信胤先生は「私は94歳まで生きる」と公言されて、実際に94歳で亡くなりました。だいたい皆さん、何歳くらいまで生きるといったイメージに合わせて健康管理をされるようです。

5、生活習慣を見直す

自分でどこかおかしい、翳りがあると感じたら、生活習慣を変更すると良いと思います。例えば旅行に持っていく荷物にしても、若い頃は大きくて重いバックでも平気です。私もトラックに載せるのに重くて持ち上げられないような大きなトランクで、海外に行ったこともあります。今はとてもそんな荷物は持ち歩けませんから、だんだん小さなバックに変わっていきました。更に、何泊もする時にはホテルのランドリーで洗濯することを覚えましたが、着替えを何枚も持ち歩かなくて済みます。遠くへ行く時も動きやすくなりました。これも家内のアドバイスのもと、自分で変えた生活習慣です。

ということで、自分で意識的に生活習慣を変えようと思うと変わります。私は生活習慣を変えようと決めて、こんなスローガンを作って予定表に書いています。＜無理をせず たっぷり眠って 腹六分＞。このスローガンは平成21年の暮れに作ったものですが、生活習慣を変化させるには、こういうものの考え方をして中身を変えていくとよいと思います。体力に翳りを感じた方へお勧めします。

今日の一冊

今日ご紹介する本は、中村天風先生の『君に成功を贈る』（日本経営合理化協会）です。この本の中で、良いと思うポイントをいくつかご紹介します。

「他人に好かれる人になりなさい」

「寝る時は、楽しいことを考えて寝なさい。そうすると翌日は、いい日になる」

「何事も、マイナスの言葉を使わないで、常に積極的に人生に取り組みなさい」

他にも、「喜怒哀楽」という言葉が出ています。陽明学の開祖である王陽明が、人間の一生は喜（喜ぶこと）・怒（怒ること）・哀（哀しむこと）・楽（楽しむこと）、この四文字に尽きると言い切っています。

新聞を読む時の3つの視点

時間が参りましたので、今年の初めから何度も申していますが、新聞を読む時に注意する3つの視点を再度申します。

一つは民主党が打つ無様な手を見続けて下さい。それによって自分たちの動きが変わるし、変えなければいけません。二つ目は、日本の国債の動向に注意する。三つ目は、自然災害に注意する。今、これら全部がひたひたと進んでいます。

1、民主党の打つぶざまな手

これは菅さんのやり方を見ればあからさまに出ています。自分だけ生き延びようとして、日本の国をどんどん悪くしています。菅さんは恥という概念・判断基準が、他の人と違うのだと思います。菅さんは学生時代、警察から「第4列の男」と呼ばれていたそうです。全学連華やかなりし頃、デモ隊の先頭で火炎瓶を投げる。その時アジテーターになっているのが菅さんだったそうです。1列目から3列目までは警察に逮捕されるけれども、4列目までは手が回らないので逮捕されない。菅さんは最初のうちは先頭立って煽っているけれども、いつの間にか4列目に消えている。一番目立っていたけれども絶対に捕まらない、「第4列の男」だったわけです。最初から逃げ方が上手なのです。それが身に付いているから、総理大臣になった現在も、形は違いますが同じようなことをやっているのではないのでしょうか。

民主党が打つぶざまな手というのは、その人がどういう教育を受け、どういう人生を歩んできたかによって変わるものだと思います。ですから、どうぞよくご覧下さい。

2、日本国債

日本国債はこれから下がる一方です。アメリカの国債もかなり危ない。どちらが暴落の引き金を引くか。これによって世界経済はひっくり返ると思います。そうになると今、我々がこうして普通に生活していることが出来なくなります。家計の直撃などというレベルではありません。食べ物が輸入されなくなる。日本の国そのものが食べられなくなくなります。日本国債をよく見て注意して下さい。

3、自然災害

自然災害に又、直撃されると思っていなければいけません。強毒性の鳥の新型インフルエンザは、日本政府の発表では国内で20万から30万人が死亡すると言っています。しかし腹の中は、200万人くらいは死ぬのではないかと、思っているふしがあります。外国の研究所は、日本人は2000万人程度は亡くなるだろうと予測しています。それから考えると今回の東日本大震災は、おそらく2万人から3万人の間ですから、亡くなり方が少ない。

世界的な流れで人口はどんどん減っていきます。地球規模でいくと何カ国も淘汰されてしまうような流れに入っているわけですから、自然災害を意識して、生き延びるための方

法を持っていないといけません。例えば東日本大震災級の地震が直撃した場合、食糧の備蓄は、本当に生き延びようと思ったら最低 3 日分は必要です。助けが来るまで頑張ろうと思ったら 1 週間分。当てにならないけれども政府の手が差し伸べられるまでと思ったら、1 ヶ月は要ります。自前で何とか生き延びようと思うなら、1 か月分の備蓄が必要です。どうぞ、それなりの準備をして戴きたいと存じます。

以上で本日の講話を終了します。有難うございました。